

鹿島学園運動部、注目の強化部をピックアップ!

応援に欠かせないチアダンス部や吹奏楽部をはじめ、美術部や英語部など文化部も元気に活動中!



硬式野球部

甲子園の出場で意識がワンランク上がったと感じています。新チームもいよいよ団結力で優勝旗を守り続けてくれると期待しています。

鈴木博識監督



レスリング部

大切な者を守れる人になれる」が信条。苦しくても決して逃げ出さない責任感を己の中に育てることが、本物の強さにつながります。

高野謙二監督



サッカー部

心技体をしっかりと鍛えることが基本。折しも、全国高校サッカー選手権は100回目を迎える節目の大会。国立をめざします!



鹿島学園運動部強化部
統括監督
鈴木 雅人さん



陸上競技部

陸上部のある中学は少ないので、部員の8割は他競技出身。タレントラックを備えた恵まれた環境をいかし、全国をめざします!

立石恵一朗監督



水泳部

水泳の競技人口が少ない地域ということもあり、個人種目のみの活動。インハイ出場以上に、自己ベストへの挑戦を大切にしています。

小原弘友紀監督

人になってからも必ずいきつま
す。スポーツに打ち込むことでの
きる環境を用意することで、人
間的に成長できる場を広げてい
るのが狙いで

20年前に保健体育科の教員として鹿島学園へ赴任してきた鈴木先生は、サッカー指導者としての経験をいかして同校サッカー部を初の県大会優勝、そして全国大会へと導きました。同様に、さまざまな競技の指導者としてのスキルも持つ教員が集まることで部のレベルが上がり、意欲や期待の高い生徒が入学してくるという上昇気流が生まれました。

たとえば学校創設当時は存在しなかったレスリング部は、名門

国土館大学を卒業した高野謙二先生が立ち上げたもの。平成10年に同好会として発足し、体育馆のステージを使っての練習からスタートしたそうです。2年後に部へ昇格し、専用の練習場も誕生。高野先生の熱心な指導と有望な新入生の獲得が実を結び、全国大会での入賞者も多数輩出する強豪チームへと成長しました。

さらに、人工芝のサッカー場やクつきのグラウンドなど、各部がより質の高い練習ができる環境を整えるとともに、活動開始当初は野球、サッカー、レスリングのみだった強化部を徐々に拡大。現在では陸上競技、水泳、バドミントン、剣道、ソフトボール、バレーボール、女子サッカー、ソフボーラーとして活動中です。

こうしてさまざまな運動部のレベルの底上げを図ることで、同校はいつしか「スポーツ強豪校」と呼ばれるようになつたのです。

20年前に保健体育科の教員として鹿島学園へ赴任してきた鈴木先生は、サッカー指導者としての経験をいかして同校サッカー部を初の県大会優勝、そして全国大会へと導きました。同様に、さまざまな競技の指導者としてのスキルも持つ教員が集まることで部のレベルが上がり、意欲や期待の高い生徒が入学してくるとい

う上昇気流が生まれました。

20年前に保健体育科の教員として鹿島学園へ赴任してきた鈴木先生は、サッカー指導者としての経験をいかして同校サッカー部を初の県大会優勝、そして全国大会へと導きました。同様に、さまざま

な競技の指導者としてのスキルも持つ教員が集まることで部のレベルが上がり、意欲や期待の高い生徒が入学してくるとい

う上昇気流が生まれました。

20年前に保健体育科の教員として鹿島学園へ赴任してきた鈴木先生は、サッカー指導者としての経験をいかして同校サッカー部を初の県大会優勝、そして全国大会へと導きました。同様に、さまざま